



新生工業株式会社



昭和工場

- 本社所在地：群馬県邑楽郡千代田町大字上五箇39番地
- 事業概要：半導体検査装置向け基板ユニットの製造（高密度実装・試験調整・リワーク）および電装品（防災含む）の組立・試作、板金・塗装の一貫対応
- 常時使用する従業員：97名  
（2025年9月時点）
- 現在の売上高：12億円  
（2025年9月期）
- 法人番号：5070001019417
- Web：https://shinsei-kogyo.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
長 勇木

### 日本のものづくりを止めない。AI・半導体時代の供給力を支える

新生工業は、高密度実装・試験調整・リワークまで一貫して担う「基板ユニットの成立工程の一貫対応」を中核に、半導体検査装置等の立上げ速度と供給力を現場から支えてきました。官民連携での戦略的投資の流れに呼応し、工程の増速と品質保証の高度化、準量産に向けた段階的な自動化を推進します。

需要偏重リスクを踏まえ、電装品と板金工程を計画的に強化し、需要の振れ幅が大きい局面でも品質と納期を維持しながら供給力を柔軟に拡張できる体制を整えます。さらに、工場環境整備と人材育成に継続投資し、再現性ある品質を実現することで、地域に根差した供給能力を高め、100億円企業へ確かな道筋で成長します。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、半導体関連部品製造の成長に加え、電装品と板金製造の事業基盤を強化し、年率20%超を視野に成長を目指す。



### 課題

- ・需要増局面でも品質と納期を両立できる、リワーク・検査・試験調整工程の増速と標準化
- ・建屋整備を含むレイアウト最適化による、工程間の滞留削減と生産リードタイム短縮
- ・品質保証の高度化による直行率向上
- ・準量産に向けた段階的な自動化の設計と立上げ
- ・需要偏重リスクを抑えるための事業基盤強化

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・建屋整備とレイアウト最適化で、検査・試験調整・リワークの増速（半導体需要の急激な変動を吸収できる体制を構築）
- ・品質保証を高度化し、検査体系・判定基準・トレーサビリティを整えて直行率を向上
- ・準量産に向けた段階的自動化を進め、自動機運用を含む生産方式を確立
- ・電装品と板金工程を強化し、試作～半量産の対応力を拡大して事業基盤を強化
- ・工程設計・標準化・多能工化の推進で、生産性と利益率を改善

### 実施体制

- ・社長直轄で品質保証・工程増速を統括する推進体制を整備
- ・検査・試験調整・リワークの改善テーマを優先順位付けして実行
- ・工程標準の策定と教育体系化を担う中核メンバーを配置
- ・建屋整備と設備導入を一体で管理するプロジェクト体制を組成
- ・自動化は対象工程選定から段取り・治具・検査まで含めて運用設計し、段階的に拡大
- ・金融機関等と連携し、資金計画と投資回収の見える化で成長投資を継続

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです